

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 令和 8年 2月 28日				
ことばの教室そらまめキッズ上川内		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションで区切って活動のスペースを確保している。個別支援ができる部屋がたくさんある。集団活動に向いている部屋もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個々の状態に合わせて変更等行っています。今後も工夫を行いながら進めていきます。	人員不足により、希望した休みが有休になることが多くなり、自由に有給を使えなくなり、休みを取ることが難しくなることが、あるので人員の配慮等（他事業所からの応援）をしていながら日々の支援や業務に取り組んでいます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		それぞれの部屋に子どもも分かりやすい名前とイラストをつけて自分が行く部屋がわかりやすいようになっています。	歩行が難しい利用児や保護者にとって、バリアフリーの環境充実とまではいかない。今後環境改善の検討を行える範囲で行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除をして清潔にしています。	今後も全職員で整理整頓しながらより良い環境作りに取り組んでいきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者1人1人に部屋が準備されています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			もう少し意見交換の場が増えるとより良くなると思うので、今後も周知の徹底に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			年1回の事業所評価やイベント後のアンケート結果を基に今後も事業所運営を行ってまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児発管と1対1での面談や、日頃の話し合いの中で職員の意見を伝える機会は多く設定されています。また、気付いた本人や周りの人と一緒に改善することができていると感じています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	お手伝いに来てくれるスタッフや上司からの意見を、業務に反映することができていると感じています。	修正点等を伺う機会が少ない為、改善点等を含めた、意見交換会に取り組んでいきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に施設内研修や外部研修実施しています。研修案内も定期的に行っています。	今後も研修機会を設け資質の向上に取り組んでいきます。
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			きちんとアセスメントを行っていく必要があると感じるので今後も保護者様と連携を図り、計画書の作成に取り組んでいきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		責任者とスタッフと日々子どもの情報交換を行いながら作成を進めています。	共通理解や、十分な検討を心掛けて今後も支援に取り組んでいきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			スタッフの理解・周知の差が見られる為、全スタッフ統一の伝達方法・内容を検討していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		A F分析等行っています。	ツールを使いこなせているスタッフとそうでないスタッフがいるため、活用方法の周知・勉強会の機会を確保していきます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			今後より一層チームでの立案に注力していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週ごと月ごとの活動計画を立てる事で固定化しないよう努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個々の発達に合わせた支援の提供を行ってけるよう、柔軟なプログラム作成を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		話し合いを意識して日々支援に取り組んでいます。	より一層支援に対しての連携を図れるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後や終礼時に振り返りを行っています。	振り返りのを大切に、最善の支援ができるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容を細かく記載しています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			定期的なモニタリングを実施できるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が参加されることが多いです。	今後子ども状況を把握できているスタッフが参加できるよう取り組んでいます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			全併用先と連携が取れている訳ではないので、今後も相互理解を深め、計画的に連携を進めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校に出向き連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			研修案内等定期的に頂いており、活用しながら、事業所運営に役立させていただきます。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		療育時間に一緒に活動する機会がなく、兄弟児との交流のみとなっている。今後交流機会を検討していきたい。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック、評価シート、事業所内相談LINE等を活用し行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレを行ったり、事業所内相談の中でのアドバイスをこなっています。ペアトレ、子育てサポートの充実を図り今後も家族支援を行っていきます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事業所内相談や日々の情報交換にて、意向等把握を心がけています。	来所持等、意向を聞く機会もあるので定期的に聞ける際にお聞きしていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談や子育てサポートによる支援参加の機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			父母会はないですが、イベントやペアトレの機会を活用し、交流の提供を行っています。今後必要に応じ父母会は検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式SNSに特化しています。	母子通園の為、日々の活動等はその場で説明を行い、行事案内等はその都度になってしまっているので、今後年間計画の作成に取り組んでいきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の方を招待しての行事等は実施していません。見学等は常時実施しているので、地域の方へ発信していきます。
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		感染症の研修や、避難訓練を定期的に行なっています。	スタッフの訓練は定期的を実施しているが、保護者参加の訓練は引き渡し訓練のみの為、今後さまざまな訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年間計画をたて実施しています。今後も安全計画のもと取り組んでいきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		どのスタッフでも把握できるよう一覧化しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある子どもについての共有がされています。	食べ物を使う支援の際には必ず、事前にお伝えし安心して活動に参加できるように今後も取り組んでまいります。

市時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			ご家族がいつでも分かる掲示等がない為、今後保護者様にも分かりやすい掲示を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			ご家族がいつでも分かる掲示等がない為、今後保護者様にも分かりやすい掲示を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけではなく、会社全体で共有がされていると感じます。	勉強会等を計画し、統一した対応が取れるよう今後も進めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年研修を実施し理解等深める機会を確保しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を設置し検討しています。スタッフへの勉強会を実施し、統一した対応を心がけています。	